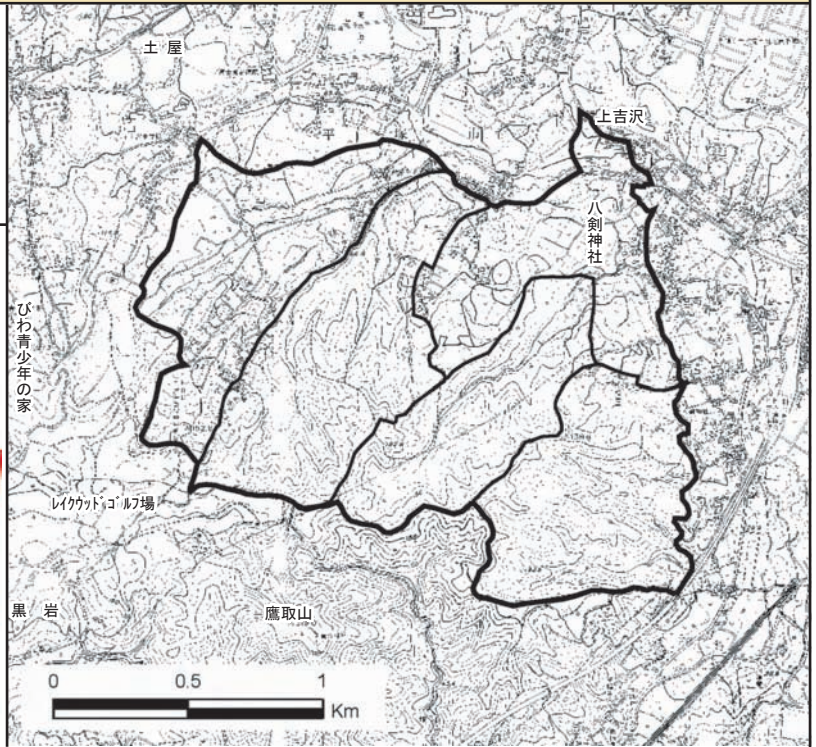
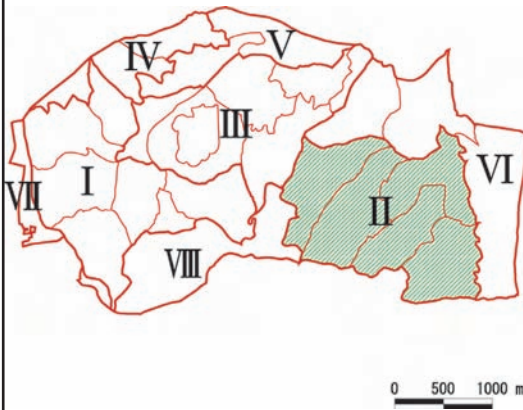


大地区Ⅱ 鷹取山山麓

【評価】

自然	場	緑の質	生物
A	A	A	A

【地区位置】



大磯方面からの鷹取山 2004年11月24日撮影



鷹取山山麓の畑地 2004年10月15日撮影

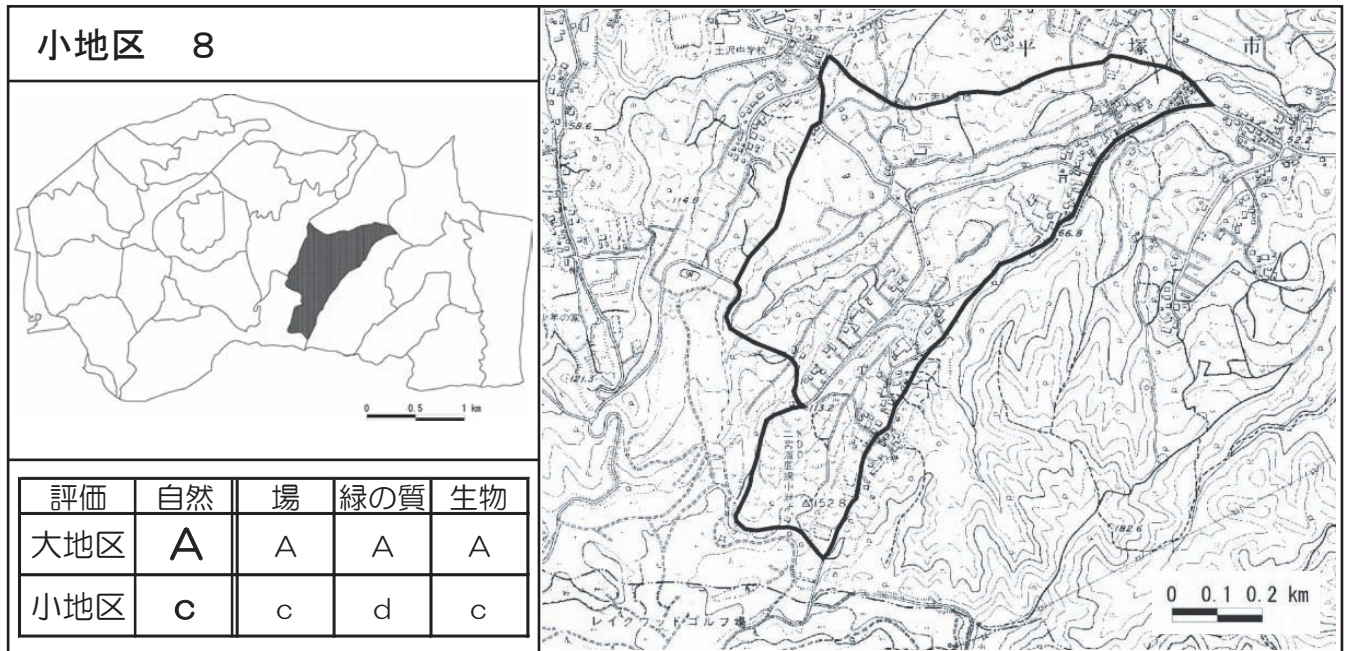


吉沢の池 2004年5月13日撮影

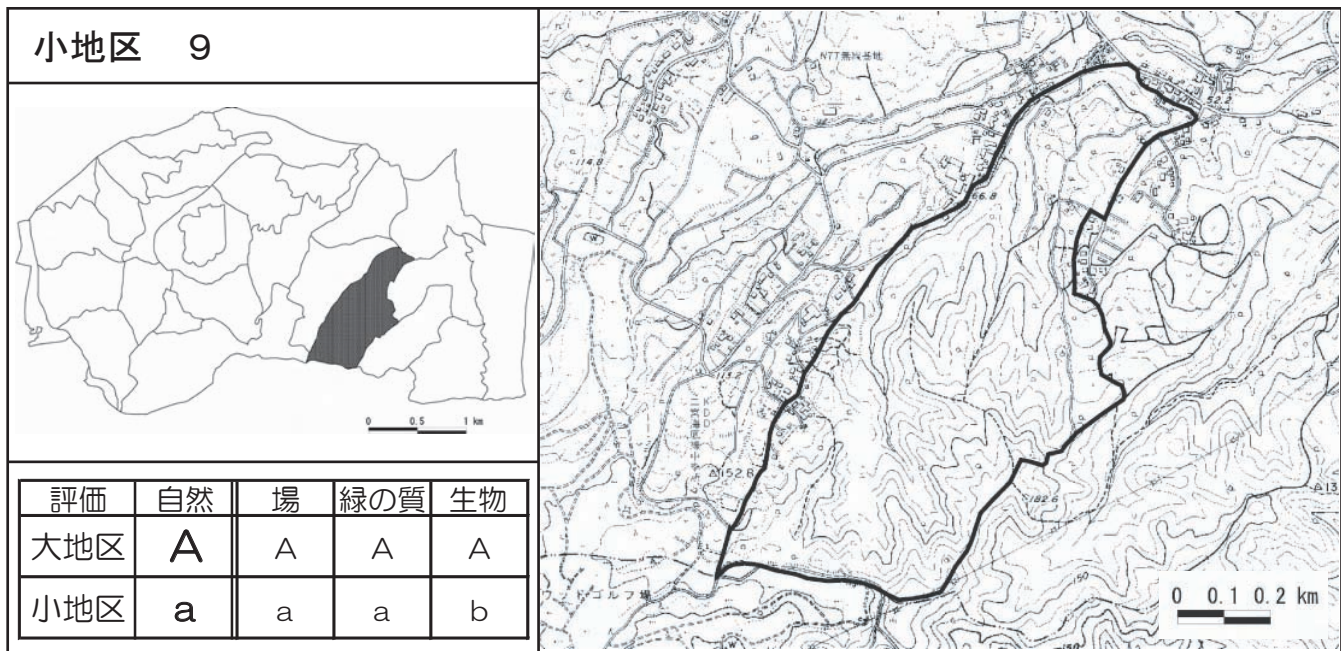


鷹取山山麓のコナラ林 2004年4月27日撮影

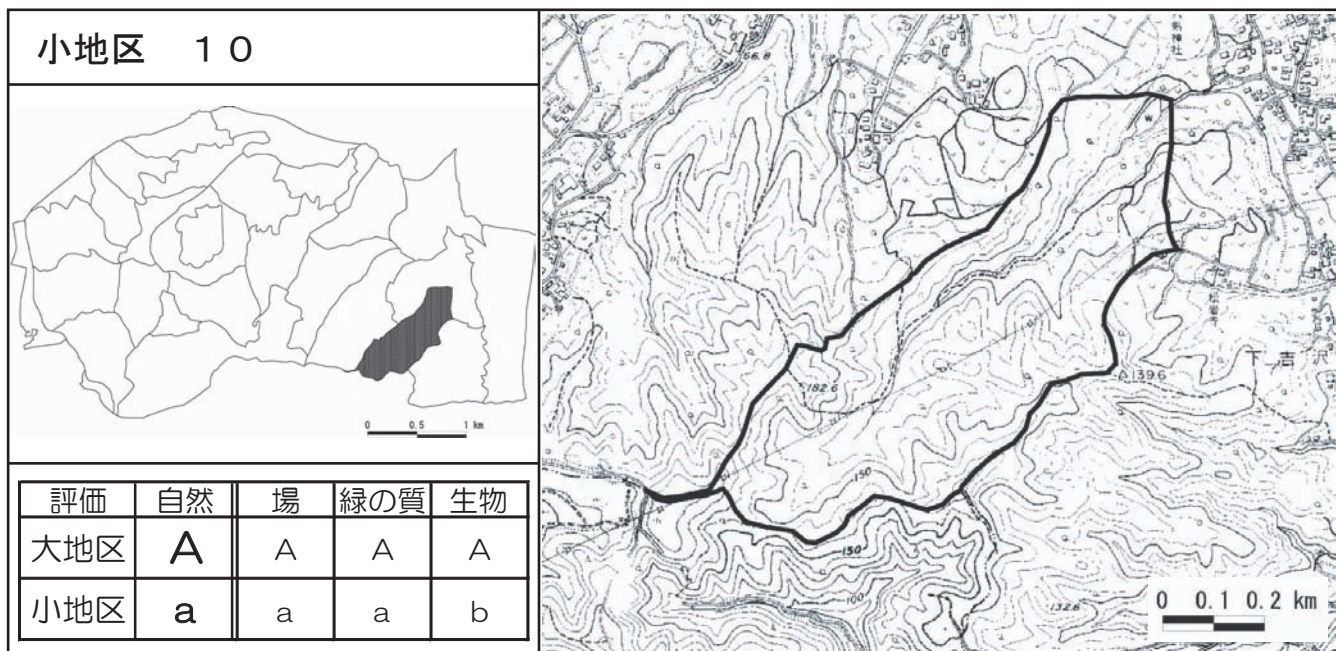
	内 容
<p>総 評</p>	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面には二次林が広がっている。溪谷状の谷には手つかずの清流が流下し、霧降りの滝やため池（吉沢の池）があり水環境も豊かである。</p> <p>樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、樹林、水辺の指標種が豊富に生息、生育している。</p> <p>座禅川上流域の里山的環境に対して、奥山を思わせる環境であり、調査地域の中でも特に良好な自然が残されている。</p>
<p>場</p>	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、座禅川上流と並ぶ地域の緑の中核となっている。</p>
<p>緑の質</p>	<p>【植物群落】</p> <p>平坦地を畑地が占め、鷹取山山麓にはコナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林が多く分布する。ほかに、モウソウチク・マダケ林、コナラ群落（林床開放型）、アズマネザサ群落、ススキ群落、畑放棄植物群落などがみられ、一部に自然植生のスタジイ群落、ケヤキ群落もみられる。</p> <p>【水系】</p> <p>おもに、谷戸に沿って護岸されていない河川がみられる。一部に三面張りの護岸河川や、片側護岸、U字溝がみられる。霧降りの滝、ため池（吉沢の池）も存在している。</p>
<p>生 物</p>	<p>【植物】</p> <p>キンラン、エビネ、ギンラン、ササバギンラン、ヤブコウジ、ヤブツバキ、マンリョウ、キツネノボタン、ケキツネノボタン、イワボタン、ネコノメソウ属の1種、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>サンコウチョウ、サンショウクイ、オオルリ、キビタキ、アオゲラ、ヤブサメ、センダイムシクイ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオヨシキリ、ヒバリ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【両生類】</p> <p>シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>ゲンジボタル、ヘイケボタル、ハンミョウ、クロカナブン、トビナナフシ、ゴイシジミ、ジャコウアゲハ、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】</p> <p>ホトケドジョウ、アブラハヤ、シマヨシノボリ、トウヨシノボリ</p> <p>※トンボ（トンボ班の調査で確認された種）</p> <p>ヒガシカワトンボ、シオヤトンボ</p>



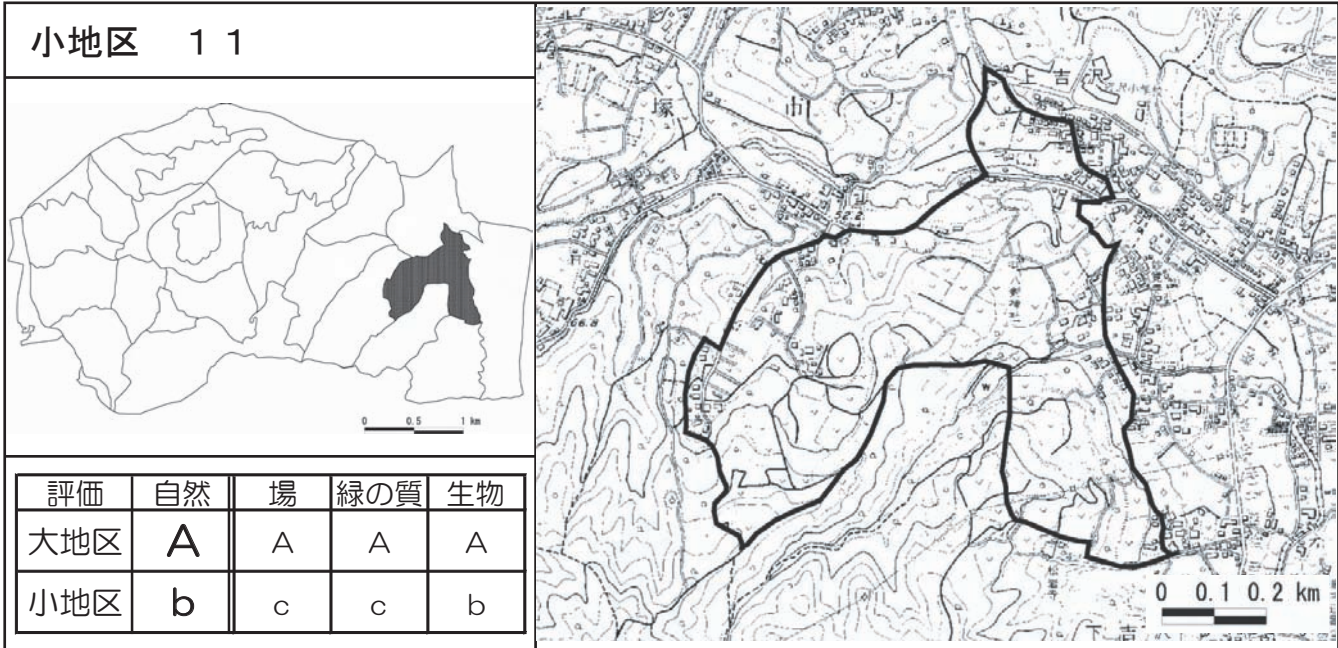
内 容	
総 評	畑地に囲まれて二次林が残存しており、鷹取山山麓の中核となる緑の緩衝帯（かんしょうたい）となっている。おもに、樹林と草地の指標種が生息、生育している。
場	鷹取山山麓の中核となる緑の緩衝帯（かんしょうたい）となっている。
緑の質	<p>【植物群落】畑地が大部分を占め、コナラ群落（林床ササ密生型）が緩やかな斜面上に分布する。ほかに、モウソウチク・マダケ林、コナラ群落（林床低木型）、スギ植林、アズマネザサ群落、ススキ群落、果樹園、樹木植栽地、畑放棄植物群落が分布する。</p> <p>【水系】おもに、三面張りの護岸河川が存在するが、上流側では一部素掘り水路となっている。</p>
生 物	<p>【植物】 ヤブコウジ、ヤブツバキ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 アオゲラ、コゲラ、ウグイス、メジロ、オオヨシキリ、オオタカ</p> <p>【昆虫類】 クロカナブン、ジャコウアゲハ、オニヤンマ、オナガササキリ</p>



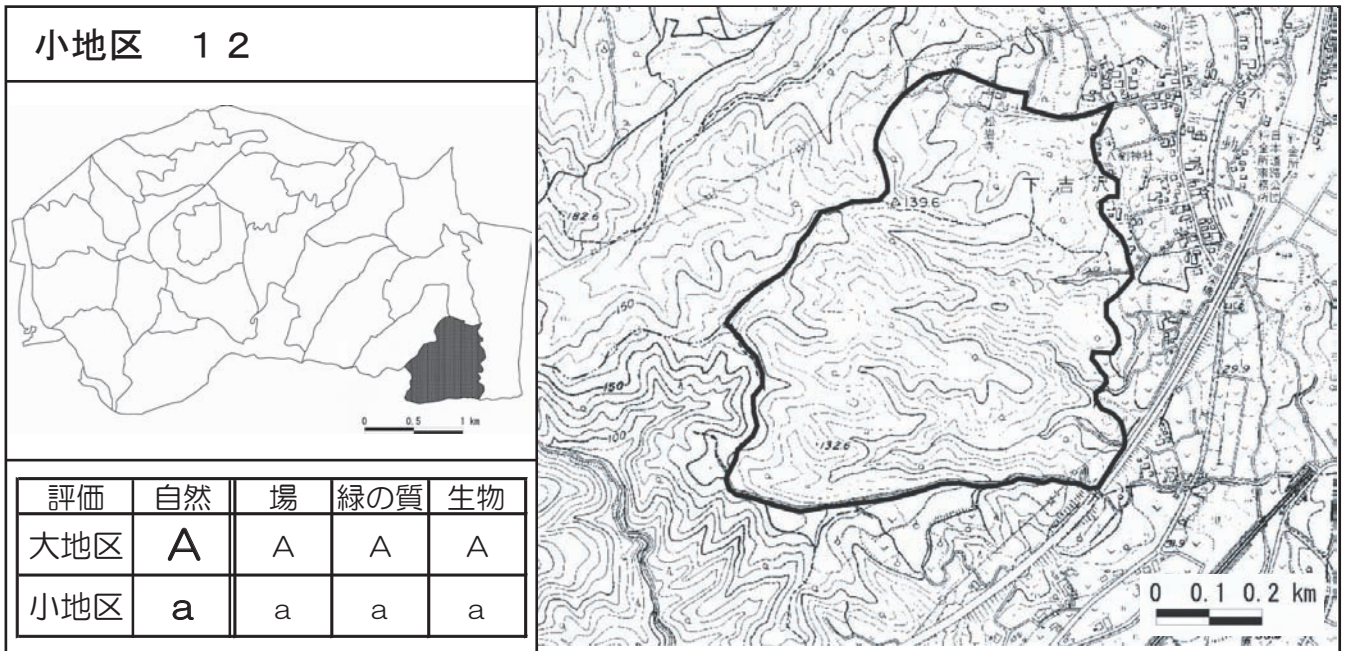
内 容	
総 評	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には、二次林が広がり、渓谷状の谷には手つかずの清流が流下している。樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育している。</p> <p>座禅川上流域の里山的環境に対して、奥山を思わせる環境であり、調査地域の中でも特に良好な自然が残されている。</p>
場	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】コナラ群落（林床低木型）が鷹取山山麓を覆い、その周りをコナラ群落（林床ササ密生型）が囲っている。コナラ林の中にはスギ植林が分布している。ほかに、モウソウチク・マダケ林、アズマネザサ群落、ススキ群落、畑地、果樹園、苗木畑などが分布する。</p> <p>また、小面積ながら谷戸の一部に自然植生のケヤキ群落もみられ、谷戸田の跡に水田放棄地群落がみられる。</p> <p>【水系】谷戸に沿って護岸されていない河川がみられる。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、エビネ、ギンラン、ササバギンラン、ヤブコウジ、ヤブツバキ、キツネノボタン、ケキツネノボタン、ネコノメソウ属の1種、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>サンコウチョウ、キビタキ、アオゲラ、ヤブサメ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、メジロ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【昆虫類】</p> <p>ハンミョウ、トビナナフシ、オニヤンマ、オナガササキリ</p>



内 容	
総 評	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には、二次林が広がり、渓谷状の谷には手つかずの清流が流下している。樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育している。</p> <p>座禅川上流域の里山的環境に対して、奥山を思わせる環境であり、調査地域の中でも特に良好な自然が残されている。</p>
場	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】コナラ群落（林床低木型）が鷹取山山麓の大部分を覆い、その中にスギ植林、コナラ群落（林床ササ密生型）が分布している。ほかに、畑地、陽性低木群落、モウソウチク・マダケ林などが分布する。谷戸の一部に水田放棄植物群落もみられる。</p> <p>また、小面積ながら自然植生のスダジイ群落もみられる。</p> <p>【水系】谷戸に沿って護岸されていない河川がみられる。下流にため池（吉沢の池）が存在している。</p>
生 物	<p>【植物】キンラン、エビネ、ヤブコウジ、キツネノボタン</p> <p>【鳥類】オオルリ、キビタキ、アオゲラ、センダイムシクイ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、メジロ、オオタカ</p> <p>【両生類】シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】ハンミョウ、トビナナフシ、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】アブラハヤ、トウヨシノボリ</p> <p>※トンボ（トンボ班の調査で確認された種）</p> <p>ヒガシカワトンボ、シオヤトンボ</p>



内 容	
総 評	<p>畑地に囲まれて二次林が残存しており、鷹取山山麓の中核となる緑の緩衝帯（かんしょうたい）となっている。小規模な谷戸も残されており、樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育している。鷹取山の奥深い樹林域を縁取る良好な里山の自然が残されている。</p>
場	<p>鷹取山山麓の中核となる緑の緩衝帯（かんしょうたい）となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 畑地が大部分を占め、一部にコナラ群落（林床ササ密生型）がまとまって分布し、コナラ群落（林床低木型）が帯状に分布する。ほかに、モウソウチク・マダケ林、畑放棄植物群落、コナラ群落（林床開放型）、スギ植林、水田などが分布する。</p> <p>【水系】 おもに三面張りの護岸河川が存在するが、谷戸に沿って一部に素掘り水路、護岸されていない河川がみられる。</p>
生 物	<p>【植物】 キンラン、エビネ、マンリョウ、ヤブコウジ、ヤブツバキ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 キビタキ、アオゲラ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、メジロ、ヒバリ、ハクセキレイ、オオタカ</p> <p>【両生類】 シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】 ゲンジボタル、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p>



	内 容
総 評	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、地域の緑の中核となっている。</p> <p>斜面には、二次林が広がり、溪谷状の谷には手つかずの清流が流下している。樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育している。</p> <p>座禅川上流域の里山的環境に対して、奥山を思わせる環境であり、調査地域の中でも特に良好な自然が残されている。</p>
場	<p>鷹取山山麓の起伏に富んだ斜面に広大な樹林が広がり、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>鷹取山山麓をコナラ群落（林床低木型）が覆っている。尾根沿いにはコナラ群落（林床ササ密生型）がみられ、一部に小面積ながらスタジイ群落がみられる。ほかに、スギ植林、伐採跡地、畑地、モウソウチク・マダケ林などがみられる。</p> <p>【水系】</p> <p>護岸されていない河川が谷戸に沿ってみられる。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、エビネ、ササバギラン、ヤブコウジ、マンリョウ、イワボタン、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>サンショウクイ、オオルリ、キビタキ、アオゲラ、ヤブサメ、ヤマガラ、コゲラ、エナガ、メジロ、オオタカ、ノスリ</p> <p>【昆虫類】</p> <p>ゲンジボタル、ハイケボタル、ハンミョウ、トビナナフシ、ゴイシシジミ、シマアメンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】</p> <p>ホトケドジョウ、シマヨシノボリ</p>



■ 指標種の生息環境イメージ

※鷹取山で確認された全ての種やグループが掲載されているわけではありません。